



第86期第2四半期 営業報告書

株式会社ノダ

証券コード：7879

株主の皆様へ



ノダグループは、木を活用した心地よい空間づくりによって社会に貢献しながら、着実な成長を目指します。

代表取締役社長
野田 励

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ここに当社グループの第86期第2四半期連結累計期間(2022年12月～2023年5月)の営業の概況等につきまして、ご報告申し上げます。

2023年8月

営業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に関する行動制限が緩和され、社会経済活動の正常化が進みましたが、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や、資材価格・電力料の高騰、不安定な為替相場など、依然として先行き不透明な状況が続きました。

住宅業界におきましては、建築コストの高騰や物価上昇により住宅取得マインドの低下が懸念されるなか、住宅需要は一部で弱含みの状態が続いており、持家や分譲戸建ての新設住宅着工戸数が前年同期比で減少いたしました。また、国内の木材需給が緩和するなか、合板についても荷動きの低迷が続いており、国内合板相場は期初から調整局面で推移いたしました。

このような厳しい事業環境において当社グループは、収益確保のため、固定費のコントロールや生産性の向上、原材料の見直しなど各種コストダウンの徹底に取り組みました。また、全面リニューアルした内装建材の新シリーズ「カナエル」(1月先行発売、4月本格発売)の拡販のため提案活動に注力するとともに、合板やMDF(中質繊維板)など素材については、需要動向に即した適切な仕入・生産・販売に努めました。しかし、原材料や副資材、電力、物流など様々なコストアップによって利益が圧迫され、さらに、住宅の着工減や流通各社の在庫圧縮もあり販売量が伸び悩みました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高35,314百万円(前年同期比8.6%減)、営業利益2,578百万円(同45.1%減)、経常利益2,691百万円(同

46.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,565百万円(同47.5%減)となりました。

●セグメント状況●

<住宅建材事業>

住空間に対するニーズの多様化に応えるため、意匠性や機能性を高めた高付加価値製品の提案を強化するとともに、リフォーム・リノベーションや非住宅分野の需要獲得に向けて、各種防音フロアやバリアフリー商品群「ユニバーサル ディレクト」の拡販に注力し、シェアの確保に努めました。

また、これらの取り組みと並行して、“あなたらしさを新しくする”をコンセプトに、自分らしい暮らしをかなえるための提案を盛り込んだ新シリーズ「カナエル」を拡販するため、全国各地での展示会開催やWeb・SNSの活用など各種提案活動を徹底し、既存顧客への早期浸透や新規顧客の獲得を図りました。

しかし、原材料コスト等が高騰するなか建材・MDF製品全般の販売価格を改定し、収益の確保に努めましたが、コストアップの吸収には至らず採算性が著しく低下いたしました。また、住宅需要が弱含みで推移するなか、製品全般の販売量が大幅に減少いたしました。この結果、住宅建材事業の売上高は20,762百万円(前年同期比5.4%減)、セグメント利益は176百万円(同87.8%減)となりました。

<合板事業>

合板については、国産・輸入いずれも需要の減少が顕著に表れ、国内合板相場が調整局面で推移するなか、販売量は大幅に減少いたしました。

国産針葉樹合板は、前第4四半期から国内出荷量の減少によりメーカー在庫が急激に増加したため、当社グループを含めた合板メーカー各社は生産調整を実施いたしました。当期に入ると、出荷量はさらに落ち込み、適正在庫水準を維持するため生産調整を継続いたしました。

輸入南洋材合板は、前第3四半期以降、国内需要の低迷と港頭在庫の増加から出荷が落ち込み、当期も出荷の低迷が続きました。また、前期の産地価格上昇と急激な円安で仕入コストは高騰しており、採算性が低下いたしました。

この結果、合板事業の売上高は14,551百万円(前年同期比12.8%減)、セグメント利益は3,311百万円(同21.0%減)となりました。

配当について

当期の中間配当金につきましては、これらの業績や配当の基本方針等を総合的に勘案し、1株につき30円(前期の中間配当金と同額)とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ビジョン2030

木の心地よさを住まいから様々な空間へ

ノダグループは、持続的に成長し社会に貢献する企業であり続けるため、以下の通り経営理念を定めます。

【企業理念】

主体的に価値創造に挑戦することにより個の成長を促し、さらなる社会貢献を実現できる企業を目指します

【ミッション】

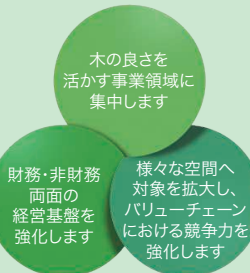
社会に果たすべき使命
・木の良さを活かして快適な空間創造に寄与します
・木をムダなく使い、持続可能な森林循環に貢献します

【コアバリュー】

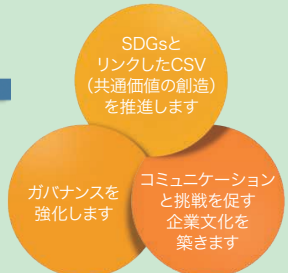
理念実現のための共通の価値観
共生・誠実・しんか(深化・進化・伸化・新化)



【ビジョン2030実現のための経営戦略】



【理念実現のための基本姿勢】



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

ノダは、持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

木をムダなく使う技術を追求して
持続可能な森林循環に貢献し、
環境にやさしいエコ素材を活用したノダ製品が、
SDGsの達成に貢献いたします。

私たちは、自らの事業を通じて、
SDGsの17ある開発目標のうち以下の目標を達成するために、
グループをあげて取り組みます。

11 住み続けられるまちづくりを

目標 11
「住み続けられるまちづくりを」
誰もが幸せに住み続けられるまちをつくるために、ノダは「サステナブルな木造建築の実現」「エコロジー部材の提供」を通じて安心・安全に暮らせる空間づくりに努めてまいります。

12 つくる責任 つかう責任

目標 12
「つくる責任つかう責任」
持続可能な生産と消費を確保するために、ノダは「木質資源の製品・用途開発」「循環型の木質資源の活用」「廃資源もムダなく使いこなす」に努めてまいります。

13 気候変動に具体的な対策を

目標 13
「気候変動に具体的な対策を」
気候変動の原因となる温室効果ガス(主に二酸化炭素)を削減するために、ノダは生産工場におけるエネルギー効率向上はもとより、太陽光発電などグリーンエネルギーの利用や再生可能エネルギーの利用などにより、地球温暖化防止に努めてまいります。

15 陸の豊かさを守ろう

目標 15
「陸の豊かさを守る」
森林循環に貢献するために、原木生産者の安定販売先としての受け皿になるとともに、自社保有林での伐採後の植林を進め、木質資源の価値創造に努めてまいります。

1. MDFを製造

再生資源・未利用資源である廃木材のチップを繊維化・加熱・圧縮してエコ素材のMDFを製造しています。優れた構造強度や高い耐久性を持っている高耐水MDF(構造用ハイベストウッド)により、より快適な住まいを実現できます。

地震に強い
壁倍率
4.0取得



木質チップを木材繊維へ

エコ素材MDF



構造用ハイベストウッド(MDF) 施工例

2. 国産材を使用

日本で育てられた木を積極的に使用しています。循環型資源形成を目指し、環境保全、CO₂の削減、資源保護に貢献しています。



国産針葉樹合板

3. 間伐材を使用

間伐によって木はまっすぐ充分に成長し、森林に水源かん養機能の向上や土砂崩れの予防など様々な効果もたらされます。国産針葉樹合板やMDFの原料として間伐材を積極的に利用することで、間伐材の安定した受け入れ先となり、健全な森林の整備の促進に貢献しています。



適度な光が差し込み木々の健全な生育環境が保たれます

4. 植林木を使用

森林資源保護のため、スライダースPシリーズMSタイプ(自然塗装)、国産材大井川杉シリーズは植林木のみを使用しています。良質な木材資源が急速に減少する中、将来における木材産業の発展・維持のために再生可能な植林木を使用しています。



国産材大井川杉シリーズ

～HBW（構造用ハイベストウッド）～

一生を預ける家を本気で守りたい、その想いで作り上げた耐力面材です。

3つの特徴

①繰り返し地震に強い

実物大住宅モデルによる耐震性能実験

震度7の強い揺れで

5回連続
倒壊 & 破損なし

②木質系面材No.1の透湿性能

湿気を通し、腐食やシロアリにも高耐性

HBWの湿気を逃す力

No.1

木質系面材

③耐震性能シミュレーション wallstatにも対応

希望の間取りで耐震性をシミュレーション

WALL
STAT

～当社HPIで紹介動画がございますので、ぜひご覧ください～

一生の買い物である家。
何より大切な自分を守るために。

当社HP
(HBWページ)



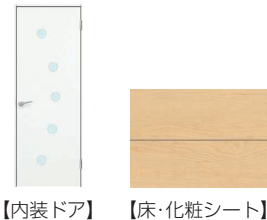
Canaeru カナエル
あなたらしさを新しくする

～自分らしい「住まい」をCanaeru～

「より快適で、オリジナリティのある住まいを追求したい」というご要望に応えられる内装建材シリーズ。多様化するライフスタイルに合わせたテクスチャーとカラーで、あなたらしい空間をご提案します。



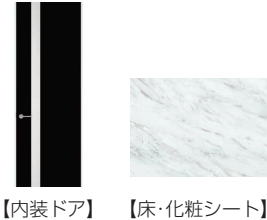
C-Design カジュアルコンフォート



R-Design リゾートラシック



T-Design トレンドトーン



～ショールームのご案内～

ノダのショールーム「快住ラボ」では、快適な住まいをまるごと体験していただけるよう、3つのテーマで構成されています。

①カナエルパーク

お気に入りのインテリアスタイルを見つけることができます



②UDスタジオ

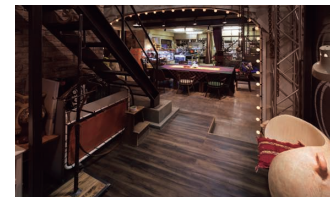
実際に見て、触れて、快適な住まいをイメージできます

③床材・建具コーディネートゾーン

色の組み合わせやドアデザインのコーディネートを確認できます



～全国ネットで放映されたドラマに美術協力～



床材：カナエルRデザイン カナエルR12 ウォールナットダーク色 (D2)

連結財務諸表(要旨)

会社概要・株式情報 (2023年5月31日現在)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第86期 第2四半期末 2023年5月31日現在	第85期 前期末 2022年11月30日現在
資産の部		
流動資産	48,043	51,394
固定資産	25,971	25,237
有形固定資産	15,429	14,779
無形固定資産	641	759
投資その他の資産	9,900	9,698
資産合計	74,015	76,632
負債の部		
流動負債	22,700	28,379
固定負債	8,848	7,521
負債合計	31,548	35,901
純資産の部		
株主資本	36,306	35,222
資本金	2,141	2,141
資本剰余金	1,587	1,587
利益剰余金	33,283	32,200
自己株式	△ 706	△ 706
その他の包括利益累計額	1,265	880
非支配株主持分	4,894	4,627
純資産合計	42,466	40,730
負債純資産合計	74,015	76,632

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	第86期 第2四半期累計期間 2022年12月1日から 2023年5月31日まで	第85期 第2四半期累計期間 2021年12月1日から 2022年5月31日まで
売上高	35,314	38,641
売上原価	26,140	27,389
売上総利益	9,173	11,252
販売費及び一般管理費	6,594	6,557
営業利益	2,578	4,694
営業外収益	176	346
営業外費用	64	55
経常利益	2,691	4,985
特別利益	255	—
特別損失	290	45
税金等調整前四半期純利益	2,655	4,940
法人税、住民税及び事業税	678	1,472
法人税等調整額	△ 22	△ 41
四半期純利益	1,999	3,509
非支配株主に帰属する四半期純利益	434	526
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,565	2,983

会社の概況

会社名 株式会社ノダ
本社 東京都台東区浅草橋5丁目13番6号
設立 1938年1月8日
資本金 21億4,100万円
従業員数 1,048名(連結1,785名)

役員

代表取締役社長	野田 励	取締役	天岸 知樹
代表取締役専務	野田 四郎	社外取締役	塩坂 健
常務取締役	島村 明	社外取締役	高井 章光
常務取締役	高津原健太郎	常勤監査役(社外)	浦田 進
常務取締役	辻村 力	常勤監査役	長谷川倫源
取締役	宮田 佳明	社外監査役	三浦 悟
取締役	良知 正啓	監査役	上原 敏彦
取締役	新美 泰		

営業拠点

北海道(札幌市)、旭川、帯広、青森、北東北(盛岡市)、東北(仙台市)、郡山、東京(台東区)、千葉、柏、埼玉(さいたま市)、高崎、宇都宮、茨城(水戸市)、横浜、厚木、西東京(八王子市)、甲府、新潟、長野、静岡、沼津、浜松、名古屋、三重(鈴鹿市)、三河(岡崎市)、岐阜、金沢、大阪、京奈(京都市)、兵庫四国(神戸市)、中国(広島市)、北九州、大分、福岡、長崎(諫早市)、熊本、宮崎、南九州(鹿児島市)、沖縄(那覇市)、他

ショールーム

東京都台東区、仙台市、横浜市、静岡市、名古屋市、大阪市、福岡市

工場

静岡県静岡市、静岡県富士市

連結子会社

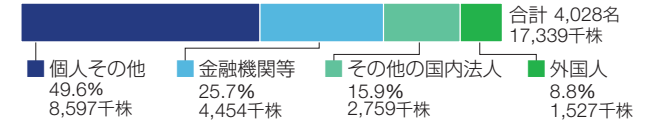
石巻合板工業株式会社	: 宮城県石巻市
アドン株式会社	: 静岡県静岡市
株式会社ナフィックス	: 東京都台東区
アイピーエムサービス株式会社	: 宮城県石巻市
PT. SURA INDAH WOOD INDUSTRIES (スラインダー社)	: インドネシア

持分法適用関連会社

SANYAN WOOD INDUSTRIES SDN. BHD.(サンヤン社)
: マレーシア

株式の状況

発行済株式の総数 17,339千株(自己株式1,283千株を含む)
株主数 4,028名



株主メモ

事業年度 12月1日から翌年11月30日まで
定時株主総会 2月
基準日 定時株主総会 11月30日
期末配当金 11月30日
中間配当金 5月31日
そのほか必要ある場合は、あらかじめ公告して定めます。
単元株式数 100株
株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社
事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
公告掲載新聞 日本経済新聞

《株式に関する手続きのお申し出先について》

- 証券会社等へ当社株式を預けたいだいでいる場合
当社株式をお預けたいだいでいる各証券会社等にお申し出下さい。なお、未払配当金の支払い、支払明細発行については、下記「みずほ信託銀行株式会社」の郵便物送付先、電話お問合せ先、お取扱店をご利用下さい。
- 証券会社等へ当社株式をお預けたいだいでいない場合(特別口座)
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先/電話お問合せ先)
〒168-8507東京都杉並区和泉2丁目8番4号
電話 0120-288-324(フリーダイヤル)
(お取扱店) みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店(※)
(※)トラストラウンジではお取り扱いできません。

ホームページ、公式SNSのご案内

ノダの最新情報やお役立ち情報をご提供します



ホームページ : <https://www.noda-co.jp>
Facebook : <https://www.facebook.com/NODACorporation/>
Instagram : https://www.instagram.com/noda_corporation/



環境保全のため、FSC® 認証紙と環境にやさしい植物油インキを使用して印刷しています。